

# はまかぜ

平成19年7月24日  
広報紙 第38号  
発行：市立御前崎総合病院  
広報委員会

ホームページ： <http://hospital.city.amaezaki.shizuoka.jp/>

(題字 小野錦泉) (写真 栗田隆平)



おまえぎき市歌  
で  
健康に!



# 外科の話



市立御前崎総合病院副院長  
小泉貴弘

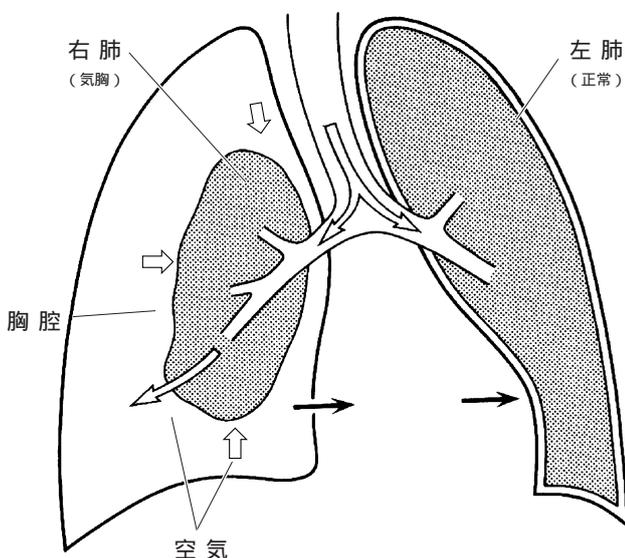
外科というと一般の方は全て同じとお思いかもしれませんが、脳神経外科、整形外科、循環器（心臓・血管）外科、一般外科（一般といっても肺、消化器、乳腺、甲状腺など）と様々な分野（臓器）に分かれています。このため一般外科医が当直だったら頭部外傷は脳外科の先生、骨折は整形外科の先生の助言・手助けを得なければならない事が多々あります。

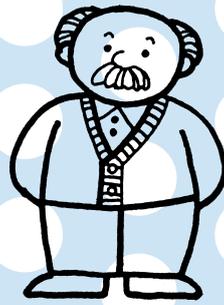
当市立御前崎総合病院の外科は浜松医大の第2外科から外科医が派遣されていますが、医局（第2外科）の専門分野は消化器、乳腺、血管外科となっています。当院での業務は外来、手術、内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラなど）、当直とマンパワー的にもかなりきつく（地方病院では研修医制度の改革のためこの病院でも大なり小なりそうですが）、外来でも患者様にかなり待ち時間が長くなってしまいご迷惑をかけていると思います。当直でも待ち時間・受診時間が長くなったり、十分な対応が出来ずご不満に思われるかもしれません。（そもそも当直時間帯は検査も十分に出来るわけではなくあくまでも緊急処置を行うのが目的なので、その辺りはお容赦下さい）

さて、我々の本業とも言うべき手術なのですが、当院ではどのような手術を行っているかをお話したいと思います。すでに述べたように医局の専門性から食道・胃・大腸・肝臓・胆道（胆嚢・胆管）・膵臓・乳腺（乳癌）・血管（下肢静脈瘤・動脈瘤・動脈硬化症などに対し）・肺・虫垂炎（盲腸）・内痔核（いぼ痔・切れ痔）などの手術を行っています。消化器系の手術は日本の疾患体系からも癌の手術が主体になりますが、その他胆石、胃潰瘍、腹部打撲による腹腔内臓器損傷（肝破裂・脾破裂・小腸破裂など）に対して手術を行ったりします。肺の手術は癌（原発性や転移）の他に気胸（肺泡がこわれて風船のようになったものが破れ、そこから空気が胸の中

胸腔内 に漏れて肺を押し縮めて呼吸困難になる）、血胸（外傷で肺が破れて胸腔内に血液が溜まる）、炎症などが手術の対象となります。

皆さんはテレビ等でご周知のことと思いますが、現在胆石症に対する胆嚢摘出手術や、今お話しした気胸などの手術は従来胸を10 cm以上切って手術が行われていましたが、最近ではおなかの中や、胸の中をのぞく内視鏡（直径5 mm程の太さ）を使って数箇所





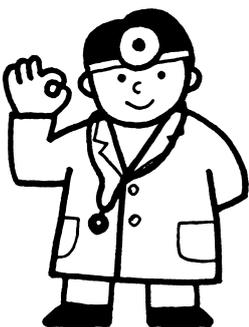
手術が出来るようになり、術後の痛みも軽減され、回復も早くなっています。ただ、おなかを炭酸ガスでふくらませたり、肺を人工的に縮めたりしなければならず従来通り全身麻酔は必要です。

写真は私の専門分野（好きな？）の肝臓の手術のものです。（消化器と一口に言っても更に細かく食道、胃、腸、肝臓、胆道・膵臓などに分かれます）大学病院ではそれぞれこの様に更に細分化された臓器のみを専門に行っていますが、市中病院では人数的にもその様な細分化は出来ず、様々の手術をしなければなりません。ただ、どこの病院の先生でも医局で手術方法や基礎知識を学んで赴任してきます。新しい手術方法や治療法なども学んで皆さんに還元しているつもりです。大きな病院、知名度の高い病院等と決して引けをとらない治療はどこの病院でも出来ると思います。（多少の得意分野・不得意分野があったりすることは否めませんが）当地域では、西は聖隷病院、東はガンセンターに行きたいといわれる方が多々みえますが、どこでも治療には大きな隔たりはありませんし、遠方の病院が最後の最後まで面倒を見てくれるかということそうではありません。大きな病院では手術だけをして、後は地元で診てもらえ、という所が多いようです。確かに、特に外科系は数をやってなんぼ、と言う側面も持っていますので、地元の病院の医者を育てていくのも皆さんです。外科に限らず、どの科の先生も市民の皆さんの健康を何とか考えようと仕事をしています。どの科も十分に人手が充足しているわけではありませんので、何かと皆さんにもご迷惑が掛かるかもしれませんが、病院を良くしていくのも皆さんの力だと思います。



何卒、ご協力のほど御願いたします。（最後は選挙演説のようになってしまつて申し訳ありません）

（一介の外科医の泣き言より）



# 看護の日イベント 盛況でした!

看護師長 赤堀 紀子

ナイチンゲール生誕を記念して5月12日を「看護の日」と制定しています。看護協会を中心にイベントが開催され早くも10年ほど経ちます。当院でも第1回目は院内で介護用品の展示や紹介、介護相談や写真展を開きました。その後は外へ飛び出そうということで、ここ3年間は「御前崎市のなぶら市場」の協力を得て開催しています。今年は、社会的にも注目を浴びている「メタボリックシンドローム」に焦点を当て、血圧測定、体脂肪測定、腹囲測定及び健康相談を行いました。当日は天候に恵まれ来訪者も多くパンフレットを見て若者も「メタボ」だと関心の高さが伺われ、体脂肪測定は行列や人だかりが出来るほどでした。若者から高齢者まで幅広い層が立ち寄って下さいました。参加した看護師たちも休むまもなく行動しましたが、嬉しい悲鳴で楽しく行うことが出来ました。また、看護師募集も呼びか



け、外に出て行動できたことが「御前崎病院が元気になるように!」少しでも協力できたのではと考えています。

今後も各部署の協力をいただき病院をあげて頑張っていきたいと考えています。



# 「おまえざき ICLSコース」 を開催して

外来主任看護師 松下雅子

昨年11月初めて開催した「おまえざき ICLSコース」は今年（5月13日日曜日）第3回目を開催することができました。「質の良い医療を求める社会的要請もあってこの蘇生に対するシミュレーショントレーニングは医療従事者にとって、大変関心がもたれている。医療用シミュレータで現実に近い状況で実践的に技能を修得する学習目標がある。さらにスタッフ間のコミュニケーション、チームワークなども含む、より現実的で包括的な安全管理への視点が提示されている。」改訂第2版日本救急医学会 ICLSコースガイドブックより。

院内の医療者も年々その必要性を感じてきており、受講希望者が増えてきました。昨年コース開催に意欲を燃やしていたがまだ手探り状態の頃、大橋院長の御理解と迅速な対応で、浜松医大救急部助手間遠先生をはじめ同じく浜松医大救急部准教授吉野先生の御協力のもとこのコースをスタートさせていただくことができました。当初は受講生やインストラクターも少なかったのですが、今年は受講生院内11名、院外6名、インストラクター24名、スタッフなど総勢50名余で行われました。受講生やスタッフの人数も増え、救急プロジェクトチームや研修協力者の方々により、2ヶ月前から資機材の手配や学習会を含む事前準備に力を入れ、無事本番当日を迎えることができました。結果、受講生やインストラクターの真剣で積極的な実践学習の様子から、楽しく充実したコースだったと思います。又、アンケート結果よりも有意義で満足できたとの声が多くありました。このコースで学んだことを現場で活かしていただき、さらには他のメンバーの指導をしていただけるよう期待したいと思いません。

昨年度まで看護部「救急プロジェクトチーム」として救急蘇生に関する活動を行ってきましたが、今年度より院内委員会「救急研修委員会」として立ち上げていただきました。今後は「おまえざき ICLSコース」をはじめとする研修会の定期開催と、院外活動への参加もできるだけ行っていきたいと考えています。



# 産科外来診療 を 開始します



産婦人科医師  
佐倉東武

## 【榛原総合病院産婦人科との連携で安心して出産が可能に!】

この数年、日本の至る所で、分娩を取り扱う病院・診療所が少なくなっています。このよ  
うな中で、榛原総合病院が地域拠点病院として「産科オープンシステム」を開設されました。  
「健診は近くの病院で。分娩はいつでも手術可能な総合病院で。」というシステムです。妊娠



初期に、榛原総合病院で分娩予約登録をしていただき、以後、  
妊娠34週までは御前崎総合病院で妊婦健診を受けることにな  
ります。このような病診連携は、浜松では既に10年ほど前か  
ら実施されています。

妊娠中の母児の健康をチェックし、異常を早期発見するのが  
妊婦健診です。先達者として、妊婦の皆様を無事に榛原総合病  
院へお送りしたいと思います。

毎週水曜日午後は菊川病院で診療（手術）を行ない、夜間の  
待機・当直を担当するなど、菊川総合病院との連携も順調です。

## 第2回 御前崎市民公開講座のご案内

【がんのはなし】というテーマで

「消化器がんの予防について」 講演 御前崎総合病院 副院長 小泉 貴弘 先生  
「胃がん治療の進歩」 特別講演 浜松医科大学 外科学第二講座 教授 今野 弘之 先生  
の基調講演が行なわれます。

日時 : 平成19年 **10月13日** (土)

場所 : 市立御前崎総合病院 講堂 (2階)

開場 : 13時30分 開演 : 14時00分 閉演 : 16時00分

入場料 : 全席自由 入場無料

※お気軽にお誘い合っておいで下さい。  
大勢の皆様の参加をお待ちしています。

# 講演会

## 御前崎医療リスクマネジメント

リスクマネジメント委員会  
手術室師長 相羽千里

6月22日(月)に本年度1回目の院内医療安全研修が開催されました。講師は金沢大学医学部附属病院臨床試験管理センター 准教授 古川裕之先生にお願いしました。参加者は120名で、掛川市立病院・袋井市立病院からの参加者もありました。ユーモアも交えた内容でとても有意義な時間となりました。



古川裕之 先生

メディケーションエラーが、病院という特殊な環境で、業務上のそれぞれの立場と役割の違いによる意識のズレが要因となることが良く理解でき、各職種間の連携の必要性を再確認しました。今年度の計画として2回目の院内医療安全研修会と薬剤師等による安全学習会や、病棟の転落転倒ラウンド・KYT(危険・予知・トレーニング)レポート等を予定しています。

## エンゼルケア研究会

講師： 榛原総合病院  
副看護部長 名波まり子氏

(グリーンケア)とは...死を含め喪失全般における反応、亡くなって気落ちしている人、家族に対するケアの事。



## 院内感染対策勉強会

5月22日蔵野剛二先生による講演『細菌学のイロハと標準予防策』は実演して、楽しく分かりやすく解説していただけた院外からの6名を含め90名ほどの参加者がありました。





当院看護部は、毎年東海アクシス看護専門学校と東京女子医科大学大東キャンパス2校の学生実習を受け入れています。

今年度は、まず5月下旬から病棟と訪問看護の実習に、アクシスの3年生が、夏休みを挟んで11月下旬まで、計7グループが来院します。また11月中旬から12月中旬にかけて、東京女子医科大学の1年生が3グループに分かれて実習に来ます。これからほぼ毎日、学生さんの姿を見る日々が続きます。

私たち看護部では、厳しい業務状況でも学生実習を受け入れ、より多くの後輩を育てていきたいと考えています。そして実習指導を行なっていく上で、さらに自分の知識や技術を向上させていきます。これも、看護師の任務の一つだと思います。また、学生実習で学生さんに関わる中で、教えられ癒されることが多々あります。煩雑な日々の流れていく業務の中で、立ち止まって自分を見つめなおす良い機会になっています。



\* 東海アクシス看護専門学校は、御前崎市、菊川市、掛川市、磐田市、袋井市、森町5市1町が共同で設置した袋井市上田町にある公立の看護専門学校です。

## 【基本理念】

私たちは、地域住民に対し思いやりのある暖かな医療と、信頼される質の高い医療を提供し、保健と福祉の増進に尽します。

## 【基本方針】

- 1 患者の権利を尊重し、インフォームドコンセント（説明と同意）に基づいた、安心と満足される医療を提供します。
- 2 高度で良質な医療を提供するため、自己研鑽に努めます。
- 3 病院内の各部門が相互に協力し、安全な医療を提供します。
- 4 老人医療、救急医療の充実に努めます。
- 5 地域の中核病院として医療・保健機関との連携を図り、住民の健康増進に努めます。

【はまかぜ】の点訳がご入用の方は総合受付までお申し出下さい。

# 職場体験学習

5月24日から25日の2日間市立御前崎総合病院で行われました。

体験では、地域で働く人々の姿に直接触れ、仕事や作業の体験を通して、働くことの大切さや厳しさ、やり遂げた成就感を味わい自分の将来の生き方に夢を持ち、現実社会に適應していく力を育成する目的です。

参加者は御前崎中学校2年生増田圭吾さんと小澤辰作さんです。



2日間の実習にあたり、病院に来る前は、そんなに大変な仕事だとは思っていなかったけれど、実際に体験してみるとずっと立ったままの作業で大変で、車イスやベッドで患者さんを移動したが、とてもドキドキして気を使った。リハビリに患者さんを送って行った時、訓練をしているのを見て、患者さんも大変だけど付き添いの人も大変だなあと思った。

点滴スタンドや車イスの掃除、ベッドのシーツ交換を体験した。シーツ交換は難しかった。

患者さんの車イス移動時、患者さんの具合が気になった。ぶつけないように注意をして緊張でいっぱいだった。リハビリの人と話しが出来たし、患者さんとも話しが出来てよかった。



## 病院の仕事を身近に

5月23日ふれあい看護体験に6名の参加がありました。参加したのは30代から60代の主婦で白衣に着替え病棟で看護師の仕事を見学、指導者の看護師と病室を回り車イスでの介助や患者様の体を拭いたり食事の配膳などを手伝い、看護の体験をしました。又院内施設や総合保健福祉センターも見学をしました。「看護師の仕事は、患者様の気持ちになって考えないと出来ない仕事だと思う。」「こんな体験は、みんなしたほうがよい。知っていれば参加したい人はきっといるはず。」などと感想を述べていました。



# 八十八夜の新茶に舌鼓！

夏も近づく八十八夜　～と歌声も軽やかに、5月9日、老人保健施設はまおかで恒例の新茶会が行われました。紺緋の着物に赤いタスキ、姉さん被りの茶娘に変身した



職員が、慣れた？手つきで新茶を入れ、和菓子とともに利用者さんに配られると、みんなの顔から自然に笑みがこぼれ、眼を細めながら美味しそうに味わっていました。

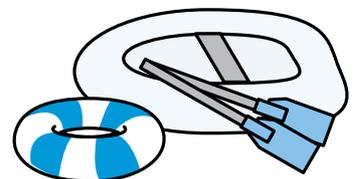


今は施設で生活されている皆さんも、元気な頃はお茶を摘むのに忙しく、こんなにゆっくり味わうことはなかったのではないのでしょうか？

今年のお茶の出来栄はいかがでしたでしょうか？

## ふれあい運動会

6月11日～15日の間、通所リハビリ利用者と御前崎第一小学校3年生の子供たちや高松幼稚園年長さんの子供たちと運動会が行われました。ピンポン玉送り、玉入れ、応援合戦と楽しい時間を過ごしました。



# すこやかにハビリ通信

このコーナーでは、リハビリの紹介や簡単な運動、日常生活のワンポイントアドバイス等を行っていく予定です。

皆様にとって役に立つ情報をわかりやすく紹介しますので、よろしくお願いします。

今回は、『パワーリハビリ』を紹介します。

この設備は病院東側の総合保健福祉センター1階、通所リハビリ内にあります。パワーリハビリとは、虚弱高齢者や要介護高齢者を中心に、マシントレーニングで筋肉を強化する事により、足の運びや姿勢が改善し、その実感や自信が要介護高齢者に健康に向けた行動を起こさせ、介護予防（転倒、骨折予防や閉じこもり防止）、自立支援、介護軽減に大きな効果が現れるトレーニングです。要介護高齢者の日常生活行為に必要な能力の維持向上等に効果のある筋力トレーニングを通して、高齢者が要介護状態になることを防ぐとともに、要介護者を減じることを目的としています。

パワーリハビリのトレーニングには6つの種目があり、運動者に軽い負荷を与えて反復運動（10回3セットを休憩を入れながら）する方法です。マシンは、通常のフィットネスクラブで使用しているものとは異なり、利用者が楽な姿勢でトレーニングできるようになっています。

実際の効果として、

- 歩行スピードが速くなった
- 歩く距離が増えた
- 杖や歩行器が要らなくなった
- バランスが良くなって、転ばなくなった
- 体が軽くなった、痛い所がなくなった



などの声が利用者の方から聞かれています。また、専門的なテストを行った結果からも同様の効果が認められています。

気になられた方、興味を持たれた方、『百聞は一見にしかず』です。気軽に見学にお越し下さい。

## トレーニングの内容



レッグEXT/FLX

\* その他4台のマシンがあります。



水平レッグプレス



理学療法士 田島光和

# きれいにしてくれてありがとうございます！

NPO法人ベアーズ（代表湊八重子氏）の在宅就労部の人たちが、平成15年から総合保健福祉センターの車椅子やベッドの掃除をボランティアでやってくれています。4年間で500品以上の掃除をしてくれました。この4月からはガーデニングも手がけるようになり、今回はセンター周辺の草取りをやってもらいました。気になっていた草がきれいに刈り取られ、とても気持ちよくなりました。ありがとうございました。



## ベアーズとは？

袋井養護学校保護者会から始まっているNPO法人です。一般就労できるレベルではありませんが、社会参加や働きたい気持ちは普通の人と変わりありません。そこで、こういった人たちの願いをかなえるため、「普通の人と障害のある人の労働の比率が、10：1でもお互い協力して、一つの仕事をしましょう。」と協働というやり方でやっています。協働という社会は、とてもやさしい社会で、税金を使う額も減り、誰にとっても暮らしやすい共生社会といわれています。

総合保健福祉センター以外に総合運動場のトイレ掃除、大山地区ゴミ回収場の清掃、御前崎海水浴場の清掃等を行っています。皆さんと会うかもしれません。そのときはどうぞお気軽に声をかけてください。

NPO法人ベアーズ 代表 湊 八重子

## 新任 医師



小児科  
すずき ゆうきち  
鈴木 祐吉



内科医長（呼吸器）  
いもかわ しろう  
妹川 史朗

### 形成外科について

毎週水曜日、浜松医科大学医学部形成外科の深水 秀一 准教授が非常勤で外来を行っています。

# クリーン作戦

6月2日

今年度第1回目は総合グラウンド周辺と新野川周辺のごみ拾いでした。

夏を思わせる太陽の日差しでしたが市内の企業の皆さんと一緒に空き缶やビニールを拾いました。



# 防災訓練

5月10日

## 春の防災訓練が行われました。



6月9日

## 自治体球技大会でバレー一部優勝!!

練習不足が心配されましたが、持ち前の粘りと根性で2年ぶりの優勝を勝ち取りました。

9月の県大会出場が決定し、大会での活躍が期待されます。



# よろしく お願いします



小児科  
鈴木祐吉

戦国時代に戦に破れて秋葉山が望まれる北遠の山間部に移り住んだという私の御先祖様たちは代々そこから出ずに生活をしていたのですが、祖父が浜松に出てきた関係で私は浜松生まれの浜松育ちとなりました。高校を卒業後、金沢で学生生活（当院健診センターの大川力先生に教わったこともあります。）を送り、その後は北陸三県で小児科医として仕事をしてきました。平成元年からは「金沢市しじま台」というところで小児科の診療所を開設し、そこで昨年3月まで診療を続けていたのですが、4月に札幌に移り、100床に満たない病院で勤務医の生活を再開しました。70歳まで勤務して、浜松か金沢に戻ろうと考えていたのですが、たまたま父親の病状が悪化し、「近くで暮らして欲しい」という母の願いで足早に故郷に帰ってまいりました。

札幌では、小児科医というよりも内科のお手伝い程度のことをしていましたので、ここ市立御前崎総合病院では小児科医として久しぶりに楽しい充実した診療をさせてもらっています。ただ、開業医生活が長かったために勤務医、それも入院患者さんを診る勤務医、としては「浦島太郎」のような感を拭い去れません。この辺りは自分で勉強して克服しなければなりません。幸いなことに浜松医科大学の小児科から若い優秀な先生方が応援に来てくれています。すでに、若い先生方からいろいろと教えられているのですが、それを日常診療に活用して、この地域の小児科医療にお役に立てればと考えています。

御前崎という土地の印象は「静かで、自然があって、二重丸」というところでしょうか。

家の周辺では、鳥が鳴き、平和そのものです。これからは四季折々に自然の良さを五感に感じる事が出来ると思われ、楽しみです。さらに、冬場の雪に悩まされることはないという利点もあります。金沢、札幌と40年以上、なぜか雪と付き合わざるを得ない状況でした。浜松育ちの私としては、なるべく早く逃避したかったのですが、運命とはこんなものかと諦めていました。それが、今年からは除雪する必要がない、冬は毎日晴れている、自転車にも乗れる（風が強いですが...）。これほど、ホッとすることはありません。

こちらに来るときに教えてもらったことは「いちご、メロン、夢咲牛が美味しい。」でした。その後、「かつを」も有名とのことを見ました。かように、御前崎には美味しい食べ物があるようです。北海道はよく食べ物が美味しいと言われますが、金沢から行くと、食材がまるっきり違いますので、あまり私の口には合いませんでした。御前崎と金沢の食材は北海道ほどの差はないだろうと思われそうですので、これから御前崎の食文化に触れることを楽しみにしています。

色々な面で、よろしくお願いいたします。

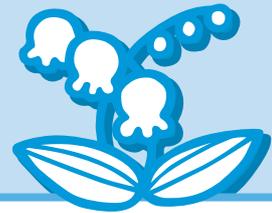
# おまえざき体良体操でイキイキ元気に!

7月18日、御前崎市の保健委員さんを対象として、御前崎市の市歌をもとに考案された「おまえざき体良体操」の指導が通所リハビリはまおかで行われた。この体良体操は、高齢者の転倒予防を考える上で必要とされる筋力・バランス・柔軟性の3要素を維持できるようにと、病院の理学療法士を中心に作られた体操で、今後は保健委員さんを中心に市民に広めていただき、市民一人一人が健康でイキイキとした生活が送れるようにして欲しいと思います。



第5回

## ボランティア すずらん総会



6月28日「小さな親切」運動静岡県本部より、すずらの会の活動に対し「小さな親切」実行章が授与されました。御前崎病院での総合案内や受診の手伝いや花壇の手入れ、総合保健福祉センターでのお話ボランティア、行事ボランティア等が評価されました。

総会に引き続き、宮本勝海先生を迎え「御前崎市の自然」について楽しい内容の講演が行われました。



# - . . . 外来診療担当表 平成19年 7月 - . . . -

		月	火	水	木	金	
内科	午前	初診・総合外来	木佐森優美	木佐森優美	近藤玉樹	(下山久美子)	澤田 仁
		消化器外来			座光寺 哲	木佐森優美	
		循環器外来	大谷速人	内山理恵		内山理恵	竹内泰代
		呼吸器外来	妹川史朗				妹川史朗
		腎臓内科外来		高橋 聡		高橋 聡	
		一般内科 内視鏡検査	小泉貴弘 9:30~	齋藤孝晶	小泉貴弘	木佐森優美	林忠毅(隔週) 山本真義(隔週)
時間内救急当番 入院当番	木佐森優美 高橋 聡	近藤玉樹 近藤玉樹	内山理恵 交代制	木佐森優美 内山理恵	木佐森優美 妹川史朗	木佐森優美 妹川史朗	
リウマチ科	午前	リウマチ・内分泌	近藤玉樹	大橋弘幸	大橋弘幸	下山久美子	大橋弘幸
	午後	リウマチ・内分泌		大橋弘幸(予約のみ)		大橋弘幸(予約のみ)	
小児科	午前	外来	鈴木祐吉 佐野伸一郎 (7/9休診)	鈴木祐吉 佐野伸一郎	鈴木祐吉	鈴木祐吉	鈴木祐吉 浅沼賀洋
	午後		月1回予約外来 大関武彦 月2回神経外来 平野浩一	第1・3 内分泌外来		健診予約制(隔週) (4,7,10ヶ月) 市の予防接種:1~10月 インフルエンザ: 11・12月の第1,2	
外科	午前	外来 血管外科外来	齋藤孝晶	小泉貴弘	大石俊明	齋藤孝晶	小泉貴弘
	午後			乳腺外来		山本尚人	
整形外科	午前	☆診察は全て予約制です。整形外科外来にて予約を受け付けております。直通電話(0537)86-8517 外来	猿川潤一郎		鈴木大介		小林 祥 (7/13休診)
脳神経外科	午前	外来	酒井直人	横山徹夫	竹田理々子	酒井直人	(パーキンソン外来) 横山徹夫 杉山憲嗣
		初診外来	竹田理々子	竹田理々子	酒井直人	竹田理々子	
婦人科	午前	外来	佐倉東武 (7/9休診)	佐倉東武	佐倉東武	佐倉東武	佐倉東武 (7/6休診)
眼科	午前	外来		彦谷明子			浅井竜彦(隔週) 須網政浩(隔週)
耳鼻咽喉科	午前	外来	渡邊高弘	峯田周幸 (予約・紹介状) (7/31休診)		竹下 有	
泌尿器科	午前	外来	吉村 麦	吉村 麦	吉村 麦	吉村 麦	吉村 麦
	午後		検査・予約外来	検査・予約外来	検査・予約外来	検査・予約外来	検査・予約外来
透析科	午前	外来	高橋 聡	高橋 聡	高橋 聡	高橋 聡	高橋 聡
	午後		高橋 聡 代診:八木宏明	芦川大介	芦川大介	八木宏明	高橋 聡 代診:白井滋子
形成外科	午前			深水秀一			
リハビリテーション科	午前	外来		酒井直人			田中 博 (第2・4・5)
	午後		リハビリ・スポーツ外来 (受付13:30~16:30) 初診受付可 第2・4				
健診センター			大川 力	大川 力	大川 力	大川 力	大川 力 杉山憲嗣
外科系時間内救急当番			脳外科	外科	脳外科	外科	第1・3・5外科

\* 外来の受付時間は8:15~11:00です。ただし、スポーツ外来受付時間は13:30~16:30となります。

\* 都合により、担当医師、診療時間等が変更される場合があります。詳しくは各科へご確認下さい。

## 編集後記

世界遺産の一つ知床に行ってきました。岩肌にしがみつくように咲いているイワウメやヒバザクラなどの小さな花に励まされながら、羅臼岳の山頂に立ったときの気分は爽快でした。(山頂は10m以上の強風で、立つことができず岩にしがみついていたのですが...)

暑い暑いといっても一時のこと。夏休みを利用して、自然に触れる旅に出かけてみませんか？

はまかぜ夏号はいかがでしたか？「こんなことを載せてほしいよ。」「身体のことこんなことを知りたいよ。」等々、ご質問やご要望をお寄せください。市民の皆様にとってははまかぜがより身近なものになっていただければと思います。

三歩